



隊友千葉だより

平成27年11月号 千葉県隊友会事務局

〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森1丁目26-9コンラッドビル4階 電話 043-306-2095 FAX 043-306-2096
電子メール chibataiyuu@angel.ocn.ne.jp ホームページ http://www.chibataiyuu.com/

【事務所 開所時間】
月・火・水・金曜日
1000～1500 山田・内田理事役



現地出発前、宿泊所「常総市青少年の家」でミーティング



現地到着、家主と作業の調整



現地ボランティアセンターで作業割当て、注意事項を聞く。

常総市に災害ボランティアを派遣

千葉県隊友会は9月10日の鬼怒川堤防決壊により甚大な被害を受けた茨城県常総市に20日から25日まで延べ73名をもって災害ボランティアを派遣し、水没被害を受けた農家の復旧支援を行った。

常総市災害ボランティアセンター（VC）が立ち上がった後の17日、大根理事役以下5名は現地VCに赴き、派遣を申し出、併せて宿泊施設として市役所と掛け合い「常総市青少年の家」を確保。併せて各支部から参加要員を募り、19日先遣要員で受入れ準備、20日から各日概ね10名体制で復旧支援を行い、25日、撤収した。

作業は最高齢83歳の山内賞会員（四街道支部）をはじめ河野会長、小淵・浮城各副会長、四街道・山武東金・市原・館山・船橋の各支部長、会員、県理事役が一体となり、昔取った杵柄、あうんの呼吸で効率的に作業を進め、被災家主から「さすが自衛隊、作業が上手、来年の稲刈りも手伝って」と大いに感謝された。被災地の早期復旧をお祈りします。



散乱した農機具等（農業用倉庫内）



被害を受けた母屋横の倉庫から物品の搬出と洗浄



器資材を搬出しつつ泥出し



農業用器資材の洗浄



お茶を頂きながら、しばし休憩、家主と懇談



壁まで洗浄、すっかり奇麗になった農業用倉庫



安房・館山・木更津支部参加者（常総市）

27年度自衛隊殉職隊員千葉県追悼式

陸自高射学校長兼下志津駐屯地司令 藤田浩和陸将補は、10月24日（土）11時から秋晴れの下、下志津駐屯地内「鎮の庭」において平成27年度自衛隊殉職隊員千葉県追悼式を執行し、県殉職隊員48柱の御霊を慰霊した。式には現役隊員に加え、ご遺族12名、県知事代理（高橋副知事）、小林鷹之衆議院議員、水野賢一参議院議員、国会議員代理、県議・市議会議員、在葉部隊指揮官、最優先上級曹長・先任伍長、北関東防衛局、父兄会・自衛隊協力会・下総水交会・隊友会等総計107名が参列した。県隊友会から会長・支部長・事務局長・理事役計22名が参列、殉職隊員を悼み、現役隊員の海外任務、災害派遣及び教育訓練における無事の任務遂行をお祈りした。続く追悼会食では、河野県会長が来賓を代表して挨拶した。



下志津駐屯地司令 藤田浩和陸将補 追悼の辞

駐屯地・基地創立記念行事

10月、下総・館山各航空基地、松戸・木更津各駐屯地、峯岡山分屯基地で創立記念行事が開催され多くの市民で賑わった。



祝賀会食（下総）



式典（下総）



河野会長献花



追悼会食



ご遺族献花



需品のメッカ松戸駐屯地 糧食教官手作り、全国一の会食料理



式典（松戸）



展示飛行（館山）



消防車放水展示（下総）



中空音楽隊 演奏会（峯岡山）



祝賀会食（松戸）



防衛大ドリル（下総）



装備品展示（峯岡山）



事務局からの連絡事項

- ◆特別会員等講演会
◎日時 12月4日（金）16時10分～17時10分 講演会終了後、懇親会を計画
- ◎場所 11グランドビル市ヶ谷
- ◎講師 11元航空支援集団司令官 織田 邦男氏
- ◎演題 11「中国の台頭と日本の課題」
- ◆「常総市災害ボランティアの記録」
大根理事役が教訓などを含む詳細な活動記録を作成しました。希望される方は、県事務所までご連絡下さい。
- ◆平成27年度後期支部長等会議
平成28年3月3日（木）13時～16時
千葉県文化センター9階会議室Ⅱ・Ⅲ
（千葉県中央区中央2-5-1 電話 043-224-8211）（※三井 ガーデンホテル千葉の隣）
- ◆空挺団降下訓練始め 平成28年1月10日（日） 習志野演習場 8時30分開門

千葉県護国神社秋の大祭奉仕

千葉県隊友会が毎年2回実施してきた千葉県護国神社に対する奉仕活動は、神社関係者・ご遺族等から感謝され、また、参加者も近傍及び遠距離から参加、定着化しつつある。

27年秋季大祭で実施した奉仕内容は次の通りで、ご推挙数は、清掃35名、車両統制16名、奉昇2名の合計53名になった。

◆10月4日(日) 8時半～11時半 境内の清掃
 好天に恵まれ 精山事務局長、永井市川、吉田千葉中央、若梅山武東金、川村館山各支部長をはじめ松戸、市川、船橋、市原、習志野、野田、鎌ヶ谷、沼南、千葉中央、山武東金、千葉美浜各支部の会員(初参加5名を含む)35名が参加。作業は8時過ぎからコーヒーブレイクを挟んで境内裏側を含む全域を実施した。竹中宮司からは、茶菓子の差し入れと参加会員に感謝の言葉が述べられた。早朝から秋大祭に先駆け九十九里の遺族会がバスで参拝に訪れ、また、大安吉日の日曜日でも組の結婚式を含め七五三の写真撮影等境内は沢山の人が賑わっており、花嫁姿も見られ和んだ。

◆10月10日(土) 8時～12時 車両統制・奉昇
 山田・富田各顧問、柏谷・河西各理事役及び本間監事役、吉田千葉中央、秋重市原、鬼島八街各支部長はじめ木更津、稲毛、千葉中央、美浜、市原、八街の各支部会員、総勢16名、奉昇で船橋2名が参加。県隊友会は車両及び歩行者の誘導及び奉昇に当たり、晴天に恵まれ無事に任務を終えた。作業終了後、御神酒を頂き、竹中宮司から感謝の言葉が述べられた。なお今回は、千葉護国神社が天皇陛下から奉幣を受けたことにより、天皇陛下奉幣臨時大祭と併せて秋季大祭が斎行された。

本大祭は、千葉県護国神社竹中宮司及び千葉県護

国神社奉賛会田井日出夫会長が主催し、国会議員、県会議員、市会議員等の来賓とご遺族約千名が参加され執り行われた。千葉県隊友会会長は、来賓として玉串を奉納、また、詩吟同好会が英霊に対し詩吟を誦し感謝された。

【千葉県護国神社担当理事役 河西伸人】



清掃奉仕参加者



車両統制・奉昇参加者

平成27年9月・10月入会者

祝入会【敬称略・順不同】

入会感謝・隊友会の発展にご協力を

- 【長生】 上原 誠(陸)
- 【柏】 増田 敏行(陸)
- 【八千代】 中嶋 文男(陸)
- 【流山】 大迫 司(陸)
- 【木更津】 正能 学(海)
- 【印西】 興梠 隆博(陸)
- 【鎌ヶ谷】 宮田 和正(陸)
- 【船橋】 堀 誠一郎(陸)
- 【市川】 長矢 幸和(陸)
- 【浦安】 宮本 誠也(空)

平成27年秋の叙勲受章者

受章おめでとうございます。

【敬称略・順不同】

- ◆瑞宝重光章 小田 邦博(空)
- 【習志野】
- ◆瑞宝中綬章 川井 武彦(陸)
- 【船橋】 谷 勝治(海)
- 【長生】
- ◆瑞宝小綬章 木村 忠信(空)
- 【市川】 重松 英夫(陸)
- 【流山】 田尻 洋介(空)
- 【千葉花見川】 山本 哲也(空)
- 【瑞宝双光章】 和田 廣志(陸)
- 【鎌ヶ谷】 宮崎 竹二(海)

【千葉稲毛】 山口 正記(陸)

【市川】 吉本 辰典(陸)

◆瑞宝単光章

- 【館山】 伊勢 春天(海)
- 【松戸】 金澤 通好(海)
- 【船橋】 山本 正勝(海)
- 【市原】 佐藤 孝義(陸)
- 長井 譲治(海)
- 松山 義人(海)

下志津駐屯地追悼式場「鎮の庭」を整備

県隊友会は10月7日(水)、8時半から16時まで、安達副会長以下、四街道、船橋、千葉若葉、船橋、市原、佐倉の各支部会員21名をもって、自衛隊殉職隊員千葉県追悼式会場である「鎮の庭」の樹木の剪定・伐採を行った。

「鎮の庭」の慰霊碑は、昭和52年まで陸自殉職隊員千葉県追悼式を習志野駐屯地で実施していたところ、昭和53年以降、陸・海・空自衛隊の合同追悼式が下志津駐屯地で実施されるのを機に千葉県自衛隊協力会、隊友会千葉県支部連合会、自衛隊父兄会千葉県支部連合会及び自衛隊千葉県遺族会をもって建立発起人が発足、これに県内陸・海・空自衛隊及び自衛隊千葉地方連絡部が協賛母体となり、広く県下に協賛を募り、建立された。全国の殉職者は1千8百78名、そのうち千葉県の殉職者は88名であり、下志津駐屯地「鎮」に祀られている殉職者は今年度新たに2名を加え48名となっている。



除草・清掃



参列者誘導



奉昇



平和安全法制緊急セミナーに参加

9月9日(水)、参議院会館で開催のセミナーに永井市川支部長、同支部弘田会員等が参加。櫻井よしこ氏によるセミナー基調講演に始まり、山田東海大教授、森本元防衛大臣による賛同表明、文芸評論家小川榮太郎氏による要望書朗読、3名の議員挨拶、最後に田久保氏の激論が聞かれ、予定の1時間が1時間30分以上となる熱いセミナーであった。

【市川支部長 永井博】

平和安全法制のすみやかな成立を!



峯岡山司令に委嘱状を伝達

9月24日(木)、三好文雄安房支部長から本年、4月1日付で第44警戒隊長兼ねて峯岡山分屯基地司令に着任された本橋彰仁郎2等空佐に県隊友会相談役の委嘱状を伝達した。



本橋彰仁郎2空佐

懇談の席で委嘱状伝達遅延のお詫びとともに現在、千葉県隊友会が取り組む会勢拡大(新入会員の獲得推進等)について説明し、今後の協力について快くご理解を頂いた。



羽田沖(浮島)9月29日アフター・スーパームーン(月齢15.8) 撮影: 県隊友会 副会長 浮城洋一



慰霊碑「鎮」周辺の剪定



今回は、大きくなった樹木も伐採



慰労の昼食会を開いて頂いた。

27年度関東甲信越静ブロック研修会に参加

10月6日(火)・7日(水)の両日、長野県隊友会が担任して松本市において開催され、千葉県から河野会長が参加した。

会議では、「会勢拡大のための入会率向上策及び退会防止策」について各県が発表した。この際、茨城県会長から発表の冒頭で「関東・東北豪雨」災害に対し、常総市において千葉県が災害ボランティアとして活動してくれたことに謝辞があった。また群馬県会長は、千葉県のボランティア活動のために、県で保管している簡易ベッドと寝袋を常総市に送付したことに言及し、本部から指示が早かったので活動に間に合っただけのコメントがあった。統

く、意見交換会では、会議参加の本部常務執行役、地域担当執行役、県隊友会長等に加え、陸自東部方面総監 森山尚直陸将、地元国会議員、宇都隆史参議院議員代理、小柳直樹北関東防衛局長等が参加。
 翌日の部隊研修は、松本駐屯地を訪れ、昨年の御嶽山噴火に伴う災害派遣活動について、当時、第13普通科連隊長兼松本駐屯地司令で、この指揮をとった現長野地本長 後藤 孝一陸佐から「警察、消防も一緒に活動したが、全般統制は陸自が執らざるを得なかった。ヘリコプターがなければ作業員の交代を含め作業効率は著しく低下したであろう。雨が降ったことで火山灰が腰の深さから、所によっては首のあたりまで達したこと。また3千メートル級の高地での活動のため、警察・消防・他部隊から派遣された自衛隊員などに高山病の症状が出たが、松本駐屯地の隊員は日頃から高地でのトレーニングを積んでいるので、そういう隊員は1名も出なかった。」など詳細な説明を受けた。



ブロック研修会参加者